

日立がイタリアの鉄道運営会社トレニタリア社と保守契約を締結



高速車両 Frecciarossa (フレッチャロッサ)1000

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)の鉄道システム事業におけるグループ会社である日立レールイタリア社(CEO:Maurizio Manfellotto)は、このたび、イタリア共和国(以下、イタリア)の鉄道運営会社である Trenitalia (トレニタリア社)と、Frecciarossa (フレッチャロッサ) 1000、フレッチャロッサ 500 および TSR(Treno Servizio Regionale:通勤車両)それぞれの車両への保守に関する三つの契約を総額 1.08 億ユーロ(約 130 億円)で締結しました。

一つ目の契約は、日立レールイタリア社が、9 年間にわたりフレッチャロッサ 1000 の保守および補修用の部品をトレニタリア社へ提供するもので、契約金額は約 7,900 万ユーロです。これら高品質な保守サービスの提供を通して、2017 年春から 400 両全ての車両の運行開始を予定しているフレッチャロッサ 1000 の効率的な運用をサポートします。

二つ目の契約は、TSR に関するもので、トレニタリア社の子会社である Trenord(トレノルド社)が運営している 80 両の TSR に対する保守を行うもので、契約金額は約 790 万ユーロです。24ヵ月間にわたり、ロンバルディア州を走行している TSR の毎日のモニタリングと定期的なオーバーホールを Sitav(シタブ社)と協力して行います。

三つ目の契約は、シタブ社とコンソーシアムを組んで受注したもので、12 ヶ月間にわたり、649 両のフレッチャロッサ 500 に対する保守を行います。契約金額は約 2,100 万ユーロで、2 回目の契約延長となります。

日立レールイタリア社 CEO モーリツィオ・マンフェロットのコメント

「今回の契約締結は、日立レールイタリア社が、優れた技術やデザインによる製品の提供のみならず、顧客である鉄道運営会社が提供するサービスの品質向上にも貢献することができることの証しです。」

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
